



先生、手伝います！

新型コロナウイルス感染予防対策で、密になるのを防ぐために掃除をするのを見合わせています。帰りの会の時間に浅田先生がほうきで廊下の埃を掃いていました。私も、一緒に清掃しようとうきを取りに行くと、1組の男子が「先生！手伝います！」と声をかけてくれました。そして、帰りの会が終わると、一緒に廊下を掃いてくれました。

今は、私立高校の願書提出と受験と合格発表がそれぞれの学校の日程で錯綜して行われています。出願する人もいれば、受験に行く人もいます。その中で、一部の生徒は、合格発表があり進路が確定した生徒もいます。「先生！手伝います！」と声をかけてくれた生徒は、進路が決まった生徒でした。これから、受験に立ち向かう生徒がほとんどの中、先に進路が決まった生徒は、受験に立ち向かう緊張感を崩さないように、配慮して生活することが大事だと思います。また、卒業式などの入試後の行事の計画や準備を進めてくれると助かります。学年委員会や体育委員会などの委員会のメンバーも計画や準備を進めることが、この時期は難しいと思います。ですから、進路が確定した人たちが、受験後の行事のことを積極的にかかわって進めてくれると助かります。

昨日、掃除を手伝ってくれた生徒に「卒業式やいろいろな準備も力をかけてね。」と声をかけたら「はい！」と明るい返事が返ってきました。この男子生徒のような振る舞いがとてもいいなと思いました。

事前指導を行い、調査書を手渡しで配付しています

私立高校の出願にともなう事前指導で、調査書を手渡しで配付しています。調査書は、内申点が記載された大事な書類です。また、それと同時に重要な個人情報でもあります。事前指導で受け取ったら、すぐにクリアーファイルなどにいれて、管理をしっかりとしましょう。調査書は、受験する高等学校の校長先生に提出するものです。ですので、封筒の表に「親展」と書かれています。これは、あて名に書かれている学校長しか、封を開けてはならないということです。「親展」の書類は、他の人が開けてしまったら、無効になってしまうので知っておいてください。大切な書類が渡されたことを自覚して、汚さずに、大事に管理して提出してください。